



第39回 IWA 日本国内委員会（11月6日）

はじめに、審議事項として「正・副委員長の互選」を行い、委員長に古米東京大学大学院教授、副委員長に本協会の尾崎理事長が就任した。

次に、報告事項として「2018年 IWA 世界会議・展示会（東京）の開催準備活動報告」、「第6回 IWA-ASPIRE 会議・展示会（北京）参加報告等」、「IWA 関連のイベント及び活動に関する報告」について、事務局より報告を行った。



第162回水道技術管理者協議会（11月5日・6日 於：盛岡市）

盛岡市水道事業の概要について説明を受けた後に、川北日本水道協会顧問より「漏水防止を考える」と題した特別講演が行われた。

また、事務局より、「平成27年度全国会議の概要」、「関東・東北豪雨における被害」についての報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

2日目は、盛岡市上下水道局新庄浄水場の視察を行った。



水道技術管理者資格取得講習会（福岡会場：11月10日～12月1日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、87名の参加を得て、福岡市水道技術研修所にて「水道行政」、「公衆衛生・衛生管理」、「水道経営」、「水道基礎工学概論」、「水質管理」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する汙過設備を有する水道施設において、15日間以上の実務講習を行う。

浄水場等設備技術実務研修会（大阪会場：11月10日～13日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々8名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプ実流試験装置を使った実習等、機器類の運転・操作を体験するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

水道技術者研修会（Aコース：11月11日～21日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々58名の参加を得て、「水道技術の現状と課題」、「水道計画」、「水道基礎工学」、「取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「浄水処理（高度浄水処理を含む）」、「浄水場見学（千葉県水道局ちば野菊の里浄水場）」、「浄水施設」、「漏水防止実習」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理（Ⅰ）概論」、「水質管理（Ⅱ）実務」、「給水装置」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第6回：11月24日～27日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々14名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第15回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（11月24日）

現在活動しているWG6（アセットマネジメント）、WG7（クライシスマネジメント）、WG9（意思決定支援システム）、WG10（トイレに流せる製品）、WG12（水の効率的利用）について、各WGメンバーから最近の活動報告を行った。また、WG12に新しく参加するWGメンバーが承認された。

なお、ISO 上下水道国内対策委員会が7年を超える策定作業に貢献してきた「危機管理に関する国際規格 ISO24518（クライシス・マネジメント）」が、新たに上下水道サービス国際規格に加わった。

ISO 危機管理規格の紹介サイトは、下記 URL を参照。

～目次から第3章まで～

http://www.iso.org/iso/catalogue_detail?csnumber=64118

～概要～

http://www.iso.org/iso/home/news_index/news_archive/news.htm?refid=Ref1994

第103回水道 GLP 認定委員会（11月25日）

水道 GLP 認定について、認定更新検査機関として前橋市水道局（認定番号：JWWA-GLP 075）、群馬県企業局（認定番号：JWWA-GLP 076）が、認定維持検査機関として神奈川県内広域水道企業団（認定番号：JWWA-GLP 003）、（一財）中部公衆医学研究所（認定番号：JWWA-GLP 100）が、それぞれ審議され決定された。

平成27年度第3回運営会議（11月26日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項2「平成27年度全国会議（さいたま市）の開催状況」、報告事項3「平成27年度全国会議における国際イベント」、報告事項4「国民に対するスポット広報」、報告事項5「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討経過」、報告事項6「2018年 IWA 世界会議・展示会」について、それぞれ事務局から報告があった。



続いて第1号議案「日本水道協会第87回総会会員提出問題等の処理」、第2号議案「日本水道協会平成28年度全国会議の開催期日及び会場」の2件が事務局より上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席委員全員により主要国会議員及び関係各省に対し陳情を行った。



山口泰明衆議院議員
（自由民主党組織運動本部長）への陳情



堀内詔子衆議院議員
（自由民主党政務調査会厚生労働部会副部長）への陳情



国土交通省水管理・国土保全局
山本官房審議官、北村水資源部長への陳情

第149回水道事業管理者協議会（11月27日）

はじめに、座長の渡部松江市上下水道事業管理者、石垣高松市上下水道事業管理者、木下福岡県南広域水道企業団総務部長及び古尾谷神奈川県内広域水道企業団企業長から、取組事例の紹介があった。

次に、メンバー都市及び事務局から提案された情報交換事項「①基幹管路等の耐震化を推進するための財政支援について」、「②資金運用について」、「③公営企業債の償還年限の設定について」の3題について情報交換を行った。



第942回会誌編集委員会（11月30日）

本誌12月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

水道技術者研修会（Bコース：11月30日～12月11日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年以上）の方々85名の参加を得て、「水道技術の現状と課題」、「水道計画」、「水道基礎工学」、「取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「浄水施設」、「浄水処理（高度浄水処理を含む）」、「浄水場見学（東京都水道局金町浄水場）」、「電気設備」、「計装設備」、「漏水防止実習」、「水質管理（概論・浄水処理）」、「水質管理（送・配水）」、「機械設備」、「給水装置」について研修を実施し、最終日には自由討議を行った。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



11月30日

熊本市上下水道局
(認定番号：JWWA-GLP 074)

第21回営業業務専門委員会（12月2日）

はじめに、審議事項として「正・副委員長の互選について」を上程し、委員長に富田名古屋市上下水道局経営本部営業部営業課長を、副委員長に豊田岡山市水道局営業課長が選任された。

次に、情報交換事項として、「①検針等に対する立ち入り拒否及び支払督促等の法的措置について」、「②未納整理業務委託におけるインセンティブの導入について」、「③水道料金の債権放棄について」、「④「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく情報提供について」、「⑤委託検針員の安全対策について」、それぞれ活発な意見・情報交換が行われた。

その他として「①「営業業務マニュアル 営業業務に関する Q&A 追補版」の発刊について」、「②民法（債権関係）改正の経緯、改正検討の現状について」、事務局より情報提供を行った。



第181回工務常設調査委員会（12月3日）

JWWA 規格の改正、今後の JWWA 規格の改正について審議したほか、水道施設事故事例検討専門委員会及び応援体制検討小委員会の経過報告、ISO/TC224上下水道関連国際標準化の動向、水道維持管理指針改訂状況、平成27年度全国会議の開催状況等について、事務局より報告を行った。



第54回国際委員会（12月8日）

はじめに、審議事項として「平成28年度国際研修実施計画」について審議が行われ、了承された。

次に、報告事項として「2016年 IWA 世界会議・展示会（ブリスベン）」、「2018年 IWA 世界会議・展示会（東京）の開催準備状況」、「水道技術国際シンポジウム（神戸）への参加報告」など、前回の国際委員会以降に実施した国際活動や今後の国際イベント等について、事務局から報告を行った。



水道協会雑誌平成27年12月号掲載記事の訂正について

本誌平成27年12月号に掲載いたしました「IWA 年次理事総会出席報告」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

<正>

3. 参加者 約70名（日本からは東京大学の古米弘明教授、京都大学の田中宏明教授、そして佐久間の3名）

<誤>

3. 参加者 約70名（日本からは東京大学の古米宏明教授、京都大学の田中宏明教授、そして佐久間の3名）